合格体験記（一般入学試験）

生活科　学部　人間生活　学科　専攻

出身高校名　県立川西緑台　高校

（1）同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私はまだ何がやりたいかということがはっきりとしていなかったので、色々なことが学べるこの人間生活学科のある同女を志望校にしました。あとは、オープンキャンパスに行った時に、大学生とお話をしたりして、学問だけでなくより豊かな人間性を育むことができると思ったからです。

（2）一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

私は吹奏楽部に入っていて、週末も朝から夕方まで部活で精一杯でした。この時期は大学入試に向けて特別にやっていることはありませんでした。とにかく、学校で出された課題や、授業の予習と復習、週1回の小テストでいっぱいいっぱいでした。でも、学校の先生がやってくれていることは必ず入試のためになるので、課題と小テストは完璧に、予習と復習はみっちりとやりました。

〔夏休み〕（センター直前に同女に志望校を変えたので、実際使っていない教科もありますが、一応のせておきます）

部活を引退したのは7月末でした。なので本格的に受験勉強を始めたのは8月からです。

私はまず夏休みの計画を立てました。国語は漢字、古文単語、語彙の知識を増やすようにしました。数学はすごく苦手だったので、まず基礎からしようと思い、チャートの基本問題を毎日やりました。英語は英単語や連語の知識を増やすようにし、社会（日本史）は旧石器時代から近代史まで全てをいくつかに区切り、毎日少しずつ覚えていきました。理科（生物基&化学基）も、単元ごとに覚え直しました。この時期は、周りの人たちが6月ぐらいにもう部活を引退していたので、スランプなどもなく、焦りとやる気で1日10時間ほど勉強に集中することができました。

〔2学期～入試直前〕

夏休みで基礎固めをしようと思いましたが、自分の中ではまだまだだったので、2学期に入っても単語など、入試直前までやっていました。社会や理科は夏休みに一通りやっていたので、2学期に入ってから問題を解いたり、少し勉強をしなくて間があいても、しっかりと頭に入っていたので良かったと思います。

私はセンターの3教科、5教科、一般入試の2教科3つで受験したので、一般入試の勉強はとりあえず年内（1月に入るまで）に2年分を解きました。そして1月になってから1週目ぐらいまでは、一般入試とセンターの過去問を解いていました。の過去問（センター過去問は12月ぐらいから解き始めました）センターが終わってから一般入試の過去問を3年分解きました。

（3）この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビとの付き合い方、スランプとその対処法について。

私の部活は週末も練習がみっちりで、勉強に時間を割くのは難しかったです。疲れて帰ってきて、いざ勉強しようと思ってもすぐ寝てしまっていました。1日何もせず寝てしまったこともあります。引退の時期も学校の中では遅い方で、出遅れているなあと感じていました。でも、実際8月から勉強を本格的に始めると、逆にその出遅れている焦りが私を机に向かわせて、毎日毎日知識が増えていくことが楽しいとも思えました。なので、引退までは部活を精一杯やってほしいです。部活をやっている間特別なことができなくても、学校の課題や小テストに真面目に取り組んでいたら大丈夫です。受験に大切なのは慣れと経験です。なので毎日毎日コツコツと勉強することを心がけてみて下さい。積み重ねです。

（4）受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験というと長い間、何ヶ月も机に向かい、テレビもスマホも遊びも禁止という風に思っている人も多いと思います。実際そんな感じです。でも、1日焦ってもどうにかなるものでもありません。長くコツコツと何回も繰り返すことで結果につながります。ときには勉強が嫌で嫌でしょうがない時もあります。そんな時は映画などを見に行って気分転換することも大事です。私もしていました。そして、本当に自分が行きたい、自分にあった大学はどこなのかをしっかり考えてみて下さい。あっちに行ったりこっちに行ったり、コロコロ変わってもいいんです。私もそうでした。

とにかく自分が本当に一番行きたい大学を目指して頑張って下さい。応援しています。